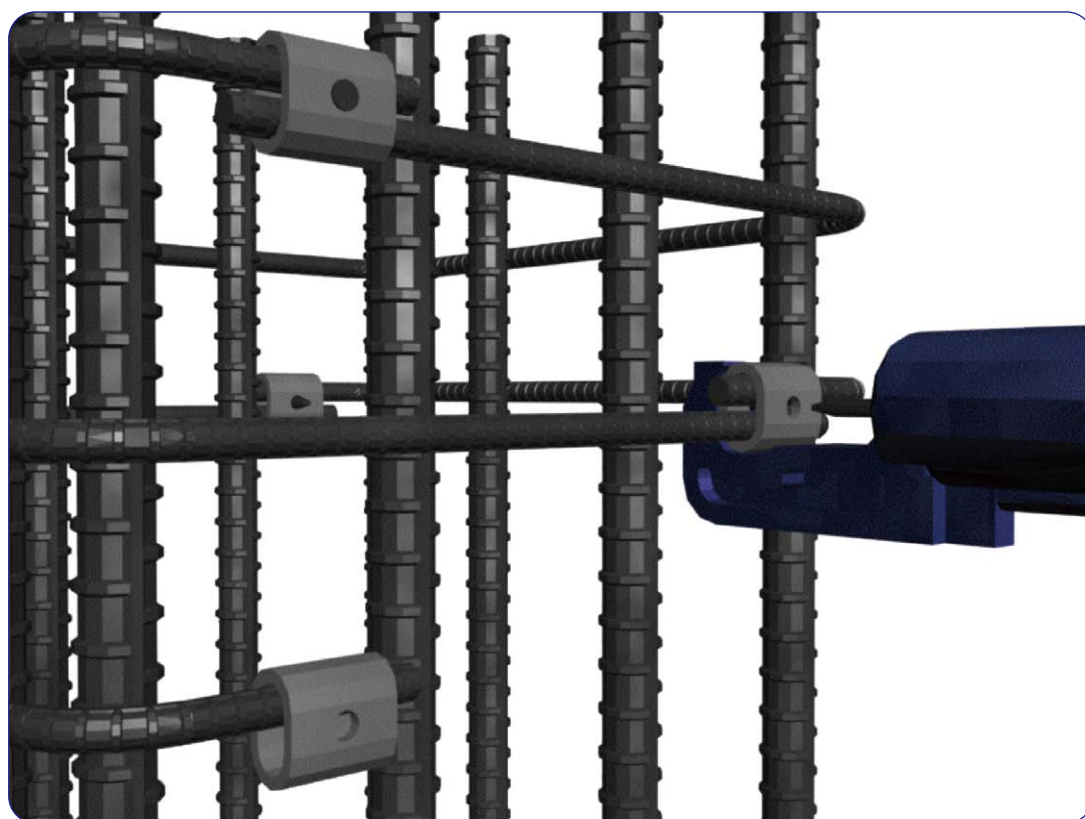


機械式鉄筋重ね継手

OSフープクリップ工法

(一財)日本建築センター 評定番号 BCJ 評定一 RC0077-03

(一財)土木研究センター 建技審証第0436号 建設技術審査証明(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)



(一財)日本建築センター評定取得

(一財)土木研究センター建設技術審査証明取得

溶接継手に比べ、天候に左右されにくく継手作業が可能
作業員の熟練度を必要としない



岡部株式会社

適用鉄筋

鉄筋は JIS G3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に規定されている熱間圧延異形棒鋼とする。

呼び名：D10, D13, D16, D19

鋼種：SD295A, SD295B, SD345

(適用鉄筋以外には使用しないで下さい。)

継手使用部位および集中度

建 築

使用部位	呼び名	継手数	全数継手	交互継手
柱・梁のせん断補強筋※1 (ヒンジゾーン外)	D10～D19	1 個	△	◎
柱・梁のせん断補強筋※1 (ヒンジゾーン)		2 個	△	◎
床	D10～D16 D19※3	2 個	○	◎
壁※2			△	◎

※1：曲げ耐力に対するせん断耐力に余裕を持たせ、脆性的な破壊を計画する部位は適用しないものとする。

※2：壁下端より 50cm 以上離れた位置に継手部を設けるものとする。

ただし、在来工法の壁で曲げ降伏が生じない場合は、材端部で接合してもよい。

※3：D19 を床・壁筋の接合に使用する場合は、ダブル配筋とする。

◎：制約条件なし。

○：曲げモーメントの大きい位置には適用しない。

△：鉄筋コンクリート造では、構造計算により決まる補強筋比を 25% 以上割増す。

鉄骨鉄筋コンクリート造では、全数継手として良い。

土 木

使用部位	呼び名	継手数	全数継手	交互継手
せん断補強筋 帯鉄筋、中間帯鉄筋 スターラップ※1、配力鉄筋※1	D13～D19	1 個	○	◎

※1：疲労繰返し荷重の生じる梁、床版の配力鉄筋には適用しないものとする。

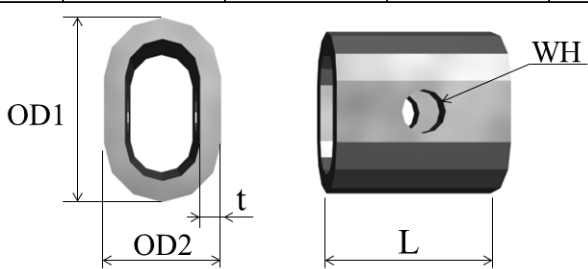
◎：制約条件なし。

○：可能な限り継手位置をずらすものとする。

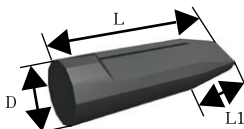
形状・寸法

スリーブ

(単位：mm)

鉄筋 呼び名	スリーブ長 L	長辺外径 OD1	短辺外径 OD2	肉厚 t	孔径 WH
D10	36	30	18.2	3.1	10.2
D13	40	39	24.6	4.5	10.2
D16	60	46.3	29	5	14.8
D19	70	56.5	34	6	16.8
スリーブ形状					

■ ウエッジ

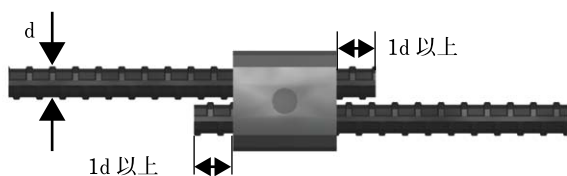
鉄 筋 呼び名	ウエッジ長さ L	ウエッジ径 D	L1	形 状
D10/D13 兼用	37	10	12	
D16	43	14	10	
D19	48	16		

継手部強度

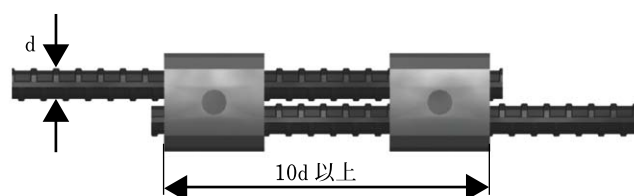
継手部の強度は鉄筋のJISに定める規格降伏点の135%以上

継手方法

継手方法および配置の詳細については、技術資料をご参照願います。



1 個継手【建築・土木】



2 個継手【建築】

圧入装置

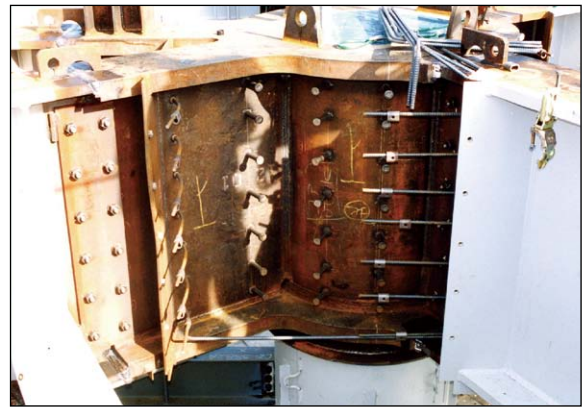
■ 必要な作業スペース(セパレート式)

(単位：mm)

	A	B	C	D	E	F
D10	66	76	72	25	26	52
D13			79			
D16	87	97	102	35	32	65
D19	99	109	104			



施工状況



SRC 造仕口部

ご使用に当たって

1. 本カタログは、建築設計事務所様、建築施工会社様等において、OSフープクリップ工法を用いた建築物を設計及び施工・管理される際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。
2. 設計施工にあたっては、本カタログ、技術資料・取扱説明書を必ずご一読くださるようお願いいたします。
3. 製品仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご承知ください。
4. 印刷物と実物とは、多少外観が異なることがありますので、あらかじめご承知ください。

免責事項

万一、OSフープクリップ工法に問題が生じた場合には、下記の免責事項をふまえた上で対応させて戴きます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われず発生した不具合
- 本カタログに記載した事項に反した設計・施工による不具合
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合
- 標準仕様以外に設計者・施工業者等の使用者が指示した仕様による施工・取扱いに起因する不具合
- 引き渡し後、仕様・性能の改変を行い、これに起因する不具合
- 開発・製造・販売時に通常予測される環境等の条件下以下における、使用・保管・輸送等に起因する不具合
- 不可抗力（天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱など）により発生した不具合
- 瑕疵（かし）を発見後、すみやかに届けがされなかった場合



岡部株式会社

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL.03-3621-1611 FAX.03-3621-1616
<https://www.okabe.co.jp>

北海道支店 011(873)7201	千葉営業部 043(290)0150	京滋営業部 0774(43)2200	大分営業部 097(547)8861
東北支店	横浜営業部 045(651)1741	中四国支店	長崎営業部 095(882)8282
仙台営業部 022(288)7161	北関東営業部 0480(25)5656	広島営業部 082(254)4811	宮崎営業部 0985(29)4965
盛岡営業部 019(606)3780	名古屋支店	岡山営業部 086(273)5671	熊本営業部 092(624)5873
信越支店	名古屋営業部 0568(71)6321	徳山営業部 0834(27)4170	鹿児島営業部 099(812)8380
新潟営業部 025(287)7711	静岡営業部 054(204)2050	山陰営業部 0853(24)9856	沖縄支店 098(856)2700
長野営業部 0268(25)1266	北陸営業部 076(238)7353	四国営業部 087(841)0023	
東京支店 03(3623)6441	関西支店	九州支店 092(624)5871	
東京営業部 03(3623)8181	大阪兵庫営業部 06(6339)9001	福岡営業部 092(624)5886	

●特約店・取扱店